

カポジ水痘様発疹症後に漢方風呂を継続した成人アトピーの経過 (30 代女性)

症例 ID：001-30-FN | 記録日：2017 年 2 月 2 日

1. 診断・治療前経過

幼少期からアトピーがあり、出産後の 2014 年 3 月以降に肌の調子が悪くなりました。近所の皮膚科で授乳に影響しないと説明されてステロイドを処方され、塗ると見た目はすぐにきれいになりました。

2015 年晩夏、口と首にできものが出来範囲が広がり、アトピーとは違う刺すような痛みがありました。皮膚科ではカポジ水痘様発疹症と診断されました。冬にはややましになりましたが、再発への不安から松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	出産後の皮膚症状に対してステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	2014 年以降に使用しました。具体的期間は不明です。
中止時期	松本医院受診後に中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2014 年 3 月以降	来院前	出産後に肌の調子が悪くなり、皮膚科でステロイド外用を使用しました。
2015 年晩夏	来院前	口と首に刺すような痛みを伴うできものが出来範囲が広がり、カポジ水痘様発疹症と診断されました。
松本医院初診日	治療開始	帰宅後すぐ漢方風呂を始めました。15 分もしないうちに両手が強く痒くなりました。
治療継続中	経過中	2 時間以上の漢方風呂、煎じ薬、灸、外用薬を生活に取り入れました。
2017 年 1 月時点	中間報告	鎖骨・胸部のステロイド焼けが残り、各部位でヘルペス症状が出ていました。掻きすぎにより両手中指・薬指がばね指に近い状態になりましたが、前年夏よりかなり楽になりました。

4. ピーク時期

症状が強かった時期は、2015 年晩夏に口と首の刺すような痛みを伴うできものが広がり、カポジ水痘様発疹症と診断された時期と、漢方風呂開始直後に両手の強い痒みが出た時期です。

5. 検査値

項目	内容
総 IgE	2016 年 9 月 9 日：726、2016 年 12 月 14 日：392。
ピティロスポリウム	2016 年 9 月 9 日：34.3、2016 年 12 月 14 日：15.6。
ハウスダスト	2016 年 9 月 9 日：35.7、2016 年 12 月 14 日：21.4。
ヤケヒョウダニ	2016 年 9 月 9 日：48.9、2016 年 12 月 14 日：26.8。
TARC	2016 年 9 月 9 日：1807、2016 年 12 月 14 日：1100。
LDH	2016 年 9 月 9 日：298、2016 年 12 月 14 日：227。
好酸球	2016 年 9 月 9 日：680.6、2016 年 12 月 14 日：434.6。
HSV	2016 年 9 月 9 日：52.1。
VZV	2016 年 9 月 9 日：15.2。

6. 写真・画像

※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



写真1：経過中にみられた前腕の皮膚状態。



写真2：経過中にみられた前腕の皮膚状態。

7. 困りごと

- ・漢方風呂では2時間以上の入浴が必要となり、育児中の生活調整が必要でした。
- ・煎じ薬を飲み切ることが難しい時期がありました。

- ・外用薬の色が衣類に移り、肌着の選択にも影響しました。
- ・痒みが強い日には家事が手につかないことがありました。

8. 経過のまとめ

2015 年晩夏にカポジ水痘様発疹症と診断される症状を経験し、松本医院受診後は漢方風呂、煎じ薬、灸、外用薬を生活に組み込みました。2017 年 1 月時点では鎖骨・胸部の色素変化や各部位の症状は残るものの、前年夏よりかなり楽になっていました。リバウンドや症状の強い時期を経ながらも、通院経過の中で、皮膚状態が安定に向かう変化がみられた症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。